

# ステンレス六角穴付きボルト

Stainless Hexagon Socket Head Cap Screws

ステンレス鋼は、周知のように耐食性、耐熱性にすぐれた鋼として開発されあらゆる産業界から家庭にいたるまで使用されております。

当社では、ステンレス鋼の特性をいかし、より成果をあげるため、使用材料の選択には特に吟味し、耐食性、表面光沢、さらには精度のすぐれた **OKK** ステンレス六角穴付きボルトを、永年にわたる経験と卓越した加工技術の粋を結集し徹底した品質管理のもとに製造いたしております。

## オーステナイト系ステンレス六角穴付きボルト

- ◆ JIS G 4315(冷間圧造用ステンレス鋼線) SUS 304 305 XM7 (Class A2)はCr系ステンレス鋼より、はるかに優れた耐食性を持ち、特に **OKK** ステンレス六角穴付きボルトは冷間塑性加工によって精度と優美性を発揮し、広く海外市場に進出しております。
- ◆ JIS G 4315(冷間圧造用ステンレス鋼線) SUS 316(Class A4)は従来の18Cr-12Ni高級ステンレス鋼にモリブデンMoを2~3%添加することにより耐食性を著しく改善したもので、オーステナイト系ステンレスの中で最も耐食性に優れています。

酸、塩化物、臭化物等に対して非常に良好でありますので、薬品、染色バルブ等の化学工業および合成繊維工業機器等に使用ください。

## 機械的性質

鋼種・強度区分	引張強さ		耐力		伸び
	最小		最小		最小
	N/mm <sup>2</sup>	kgf/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	kgf/mm <sup>2</sup>	mm
A2-70	700	71.4	450	45.9	0.4d

## 冷間加工率と透磁率について

オーステナイト系ステンレス鋼は、固溶化処理状態では非磁性鋼で透磁率( $\mu$ )は、1.02以下で着磁ませんが、SUS301、SUS304、SUSXM7などのNi当量の低い鋼種は、冷間加工によって誘起マルテンサイトの発生により透磁率が上昇し、着磁するようになり、耐食性が劣化します。

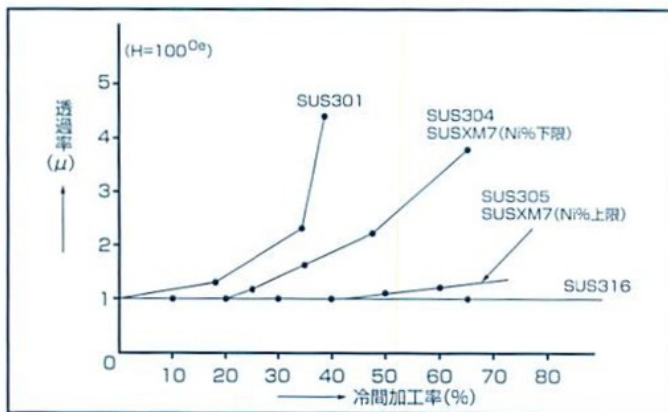


図1.各鋼種毎の冷間加工と透磁率の変化

## 耐食性について

酸に対する腐食度について、図2に示す通り含Cuステンレス鋼(SUSXM7)は、SUS304よりも優れておりSUS316と同等の耐食性を有しております。

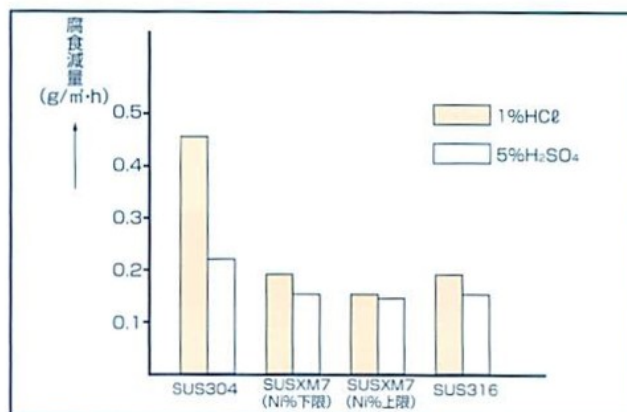


図2.各鋼種毎の浸漬試験結果

## ステンレス六角穴付きボルト 製作寸法表

単位: mm

種類	ねじの呼び	首下長さℓ																									
		5	6	8	10	12	15	16	18	20	22	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	90	100		
メートルねじ	M3											18															
	M4														20												
	M5														22												
	M6															24											
	M8																	28									
	M10																			32							
	M12																					36					
	M14																						40				
	M16																							44			

\* □線内は標準品として在庫しております。他は別註にて製作いたします。